

### Ⅲ 基準ごとの自己評価

#### 基準 1 高等専門学校の目的

##### (1) 観点ごとの分析

観点 1-1-①：目的として、高等専門学校の使命、教育研究活動を実施する上での基本方針、及び、養成しようとする人材像を含めた、達成しようとしている基本的な成果等が、明確に定められているか。

(観点に係る状況) 本校は、学則第 1 条においてその目的を明文化している(資料 1-1-①-1)。

資料 1-1-①-1：沼津工業高等専門学校学則(抜粋)

第 1 章 本校の目的

第 1 条 本校は、教育基本法の本質にのっとり、学校教育法に基づいて、深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を育成することを目的とする。

(出典：本校規則集)

[http://www.numazu-ct.ac.jp/NctJpg/kisokusyu/0010\\_gakusoku.htm](http://www.numazu-ct.ac.jp/NctJpg/kisokusyu/0010_gakusoku.htm)

また、平成 16 年 4 月の独立行政法人化に伴い定められた沼津工業高等専門学校中期計画(以下「中期計画」という。)においても、学校全体の教育理念及び養成すべき人材像と、教養科・各専門学科・専攻科の教育目標を明確に定めている(資料 1-1-①-2)。

資料 1-1-①-2：沼津工業高等専門学校中期計画(抜粋)

(前文)

##### ○教育理念

静岡県東部地区唯一の国立の高等教育機関としての社会的使命と役割を認識しつつ、「人柄のよい優秀な技術者となって世の期待にこたえよ」(初代井形校長の遺訓)との教育方針を、時代の変化に即応しつつ、展開していく。

##### ○養成すべき人材像

進取の気風に富み、幅の広い豊かな教養と、質の高い専門の工業技術の知識を身に付けて、常に新たな発想の下に、技術革新を担うことができる、ものづくりの基盤技術を支える、創造性豊かな、企業から信頼される指導的な実践的技術者

(略)

I 国立高等専門学校の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

1 教育に関する目標を達成するための措置

(1) 教育の成果に関して達成すべき内容・水準(徳育、創造性教育を含む)

##### ① 教養教育

○ 実践的技術者として備えるべき人文・社会系、体育、ならびに理数系を含む教養教育や外国語能力の内容・水準

教養科の担当する一般科目の教育は、実践的技術者の養成という高専教育の目的に合わせて、専門教育の基礎となる知識の習得をまず目標とする。その一方で、実用的な専門知識を身に付けながらも偏りのない総合的な視野から現代社会の多様な問題を理解し解決する豊かな感性を持つ、国際的にも通用する人間の形成を目標とする。それと同時に、卒業後も積極的に新しい知見を求める態度を養

い、あふれる情報の中から必要な知識を導き出す批判的思考力を身に付けさせることをも目標として、その実現に向けて多様な学問分野を網羅して教育課程の編成を行う。

## ② 専門教育

- 実践的技術者として備えるべき内容・水準（学科ごとに記載）

### （機械工学科）

機械工学はものづくりの基本であり、学生は材料力学をはじめとする力学、設計製図、機械工作法、機械要素、材料、制御、電気・電子工学、コンピュータ、統計などの基礎を確実に身に付けることが必要である。また、力学の基礎として、物理、数学の力が重要である。これらの基礎の上に、卒業研究を通して工学問題に対するアプローチの方法、知識及び技術の実践的活用法、問題についての議論や発表方法など技術者に求められる能力を修得させ、これにより自らの頭で考え、身体を動かせる実践的な技術者を育成する。

### （電気電子工学科）

電気電子工学科の学生は、回路理論や電磁気などの基礎科目を電験第二種（理論）レベルまで確実に身に付けると共に、情報処理技術から電力工学に至る幅広い電気電子工学の専門科目を学ぶことが必要である。また、電磁気などの基礎として、物理、数学の学力が重要である。これらの基礎学力の上に、知識及び技術の実践的活用法、問題についての議論、発表方法など技術者に求められる総合的能力を習得し、自らの頭で考え、行動できる実践的な技術者を育成する。

### （電子制御工学科）

技術者に共通のものとして、①継続的な自己研鑽・生涯教育の根幹となる基礎科目（設計・計画、情報・論理、解析、材料・化学・バイオ）、②産業・社会における技術者の責任ある役割を自覚し、理解するための適性科目（技術者倫理）、③社会の要請に即応できるための共通科目（数学、物理学、化学）を教育内容とし、技術士一次試験レベルの内容をかなりの程度理解させる。専門科目については、電気・電子工学、機械工学及び情報工学などに幅広くまたがる科目のそれぞれをデジタル・エンジニアリングをキーワードとして教育し、技術士一次試験専門科目（機械部門、電気・電子部門、情報工学部門）レベルの内容を一定程度理解させる。英語運用能力については、5年次修了時点でかなりの数の学生にTOEIC400点以上を取得させる。

### （制御情報工学科）

情報、機械、電気・電子、システム・制御の基礎を幅広く身につけ、コンピュータを応用した生産システムや複合機器の設計、開発、製作等の分野で社会に貢献できる人材を育成する。その中で、企業等の現場において実践的技術者として職務遂行できる程度に、自ら文献・資料等の調査ができ、種々の科学機器を工学の基礎的問題解決のために有効に使用でき、更に複数のメンバーと協調して問題解決のためのプロジェクトが遂行でき、その結果を的確にまとめ、記述、発表、討論できるコミュニケーション力を養成する。

### （物質工学科）

材料化学及び生物工学の急速な発展に対応した幅広い知識と技術を習得させ、物質の組成、構造、変化について基礎的理解を示し、化学的又は生物化学的に物質を製造する分野において研究開発、生産技術分野で活躍できる工業技術者を育成する。また、急速に進む国際化のために英語を重視し、技術者に必要な工学倫理を身に付け、新しい化学工業の発展に充分対応できる創造性豊かな工業技術者を育成する。

## ③ 専攻科教育

## ○ 高度な実践的技術者として備えるべき内容・水準

専攻科教育の目的は、「広い視野」と「深い専門性」を持った技術者の養成にある。「広い視野」とは、機械工学，電気電子工学，情報工学，化学・生物工学の領域工学の全てにわたる基礎的な素養を身に付けた技術者の育成を目的とする。ここに「基礎的な素養」とは，米国工学・測量資格認定委員会(National Council of Examiners for Engineering and Surveying)の技術者1次試験(FE-Exam.)に提示されている工学(一般) (“General”)のレベルを達成目標とすることである。この目標を達成するために必要なカリキュラム編成を行う。「深い専門性」とは，地域産業との結びつきを密にし，専攻科学生をして創造性を発揮し，地域企業における技術移転・改良に関する研究を企画し，計画し，実施し，検討して実用に供することができるようせしめることを達成目標とする。この目標を達成するために，専攻科研究指導の在り方を指導教官相互が研鑽できるような密なネットワーク組織を構築する。技術者として，当然身に付けなければならない「徳育」のレベルを，専攻科学生が「日本技術士会の倫理コード」を理解し，技術的实践に当たって，それを基に行動できるようになることを目標とする。この目標を達成するために，工学倫理の授業を必修とする。また，早期にJ A B E Eの認定を受けるため必要な教育内容・体制等の整備を図る。

(出典：沼津工業高等専門学校中期計画)

さらに，平成16年度に教育理念等を見直し，教育理念，教育目的及び教育目標のより一層の明確化を図った(資料1-1-①-3)。

## 資料1-1-①-3：教育理念等

## 教 育 理 念

人柄のよい優秀な技術者となって世の期待にこたえよ

## 目 的

静岡県東部地区唯一の国立の高等教育機関として，地域産業に寄与する社会的使命と役割を認識しつつ，時代の変化に即応しながら，豊かな人間性を形成する教養教育に力を入れ，専門教育においては，実験・実習及び情報技術を重視した体験的早期専門教育を行い，実践的技術者を養成する。

## 教 育 目 標

- 1 低学年全寮制を主軸とするカレッジライフを通じて，全人格教育を行う。
- 2 コミュニケーション能力に優れた国際感覚豊かな技術者の養成を行う。
- 3 実験・実習及び情報技術を重視し，社会の要請に応え得る実践的技術者の養成を行う。
- 4 教員の活発な研究活動を背景に，独創的技術者の養成を行う。

## 養成すべき人材像

進取の気風に富み，幅の広い豊かな教養と，質の高い専門の工業技術の知識を身に付けて，常に新たな発想の下に，技術革新を担うことができる，ものづくりの基盤技術を支える，創造性豊かな，企業から信頼される指導的な実践的技術者

(出典：平成17年度学生便覧)

(分析結果とその根拠理由) 優れている。本校の使命，教育理念，教育目的，教育目標及び学科等毎の教育目標は，資料に示すとおりすべて明確に定めてある。

観点1-1-②：目的が，学校教育法第70条の2に規定された，高等専門学校一般に求められる目的から，はずれるものでないか。

(観点に係る状況) 本校学則第1条に定められた目的は，学校教育法第70条の2の条文をほぼ引

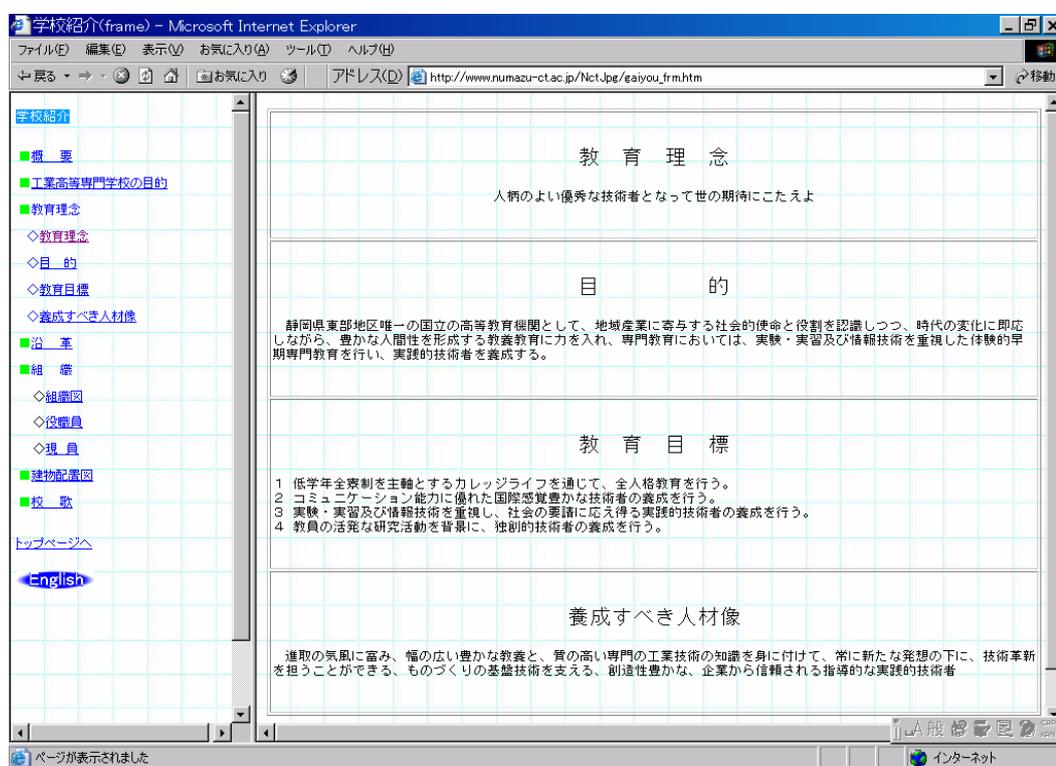
用しており、その趣旨にはずれものではない。また、教育理念並びに中期計画記載の各教育目標も「実践的技術者の養成」を至上命題に掲げており、高等専門学校一般に求められる目的からはずれものではない。

(分析結果とその根拠理由) 相応である。本校の教育理念、教育目的、教育目標及び学科等毎の教育目標は、学校教育法第70条の2に規定された高等専門学校一般に求められる目的からはずれものではない。

**観点 1-2-①：目的が、学校の構成員（教職員及び学生）に周知されているか。**

(観点に係る状況) 本校の教育理念及び教育目的は、職員にはウェブサイト（資料1-2-①-1）、学校概要（資料1-2-①-2）及び新入教職員オリエンテーション等により周知し、学生にはウェブサイト、学生便覧（資料1-2-①-3）及び新入生オリエンテーション等により周知している。

資料1-2-①-1：教育理念等を掲載したウェブサイトの該当部分



(出典：本校公式ウェブサイト)

[http://www.numazu-ct.ac.jp/NctJpg/gaiyou02\\_1.htm](http://www.numazu-ct.ac.jp/NctJpg/gaiyou02_1.htm)

資料 1 - 2 - ① - 2 : 教育理念等を掲載した学校概要の該当部分

**● 教育理念**  
人柄のよい優秀な技術者となって世の期待にこたえよ

**● 目的**  
静岡県東部地区唯一の国立の高等教育機関として、地域産業に寄与する社会的使命と役割を認識しつつ、時代の変化に即応しながら、豊かな人間性を形成する教養教育に力を入れ、専門教育においては、実験・実習及び情報技術を重視した体験的早期専門教育を行い、実践的技術者を養成する。

**● 教育目標**

- 低学年全寮制を主軸とするカレッジライフを通じて、全人格教育を行う。
- コミュニケーション能力に優れた国際感覚豊かな技術者の養成を行う。
- 実験・実習及び情報技術を重視し、社会の要請に応え得る実践的技術者の養成を行う。
- 教員の活発な研究活動を背景に、独創的技術者の養成を行う。

**● 学生受入方針**

- 他人を思いやる心を持ち、責任感のある誠実な人
- 技術者や科学者を目指す人
- 勉強が好きで、自分の才能を伸ばすために努力できる人



学生寮風景

(出典：沼津工業高等専門学校学校概要)

資料 1 - 2 - ① - 3 : 教育理念等を掲載した学生便覧の該当部分

平成17年度



**学 生 便 覧**

沼津工業高等専門学校

**教 育 理 念**  
人柄のよい優秀な技術者となって世の期待にこたえよ

**目 的**  
静岡県東部地区唯一の国立の高等教育機関として、地域産業に寄与する社会的使命と役割を認識しつつ、時代の変化に即応しながら、豊かな人間性を形成する教養教育に力を入れ、専門教育においては、実験・実習及び情報技術を重視した体験的早期専門教育を行い、実践的技術者を養成する。

**教 育 目 標**

- 1 低学年全寮制を主軸とするカレッジライフを通じて、全人格教育を行う。
- 2 コミュニケーション能力に優れた国際感覚豊かな技術者の養成を行う。
- 3 実験・実習及び情報技術を重視し、社会の要請に応え得る実践的技術者の養成を行う。
- 4 教員の活発な研究活動を背景に、独創的技術者の養成を行う。

**養成すべき人材像**  
進取の気風に富み、幅の広い豊かな教養と、質の高い専門の工業技術の知識を身に付けて、常に新たな発想の下に、技術革新を担うことができる、ものづくりの基盤技術を支える、創造性豊かな、企業から信頼される指導的な実践的技術者。

(出典：平成17年度学生便覧)

また、各学科等毎の教育目標は、教職員にはウェブサイト中の学科紹介ページ（資料 1 - 2 - ① - 4）や教員会議等により周知し、学生にはウェブサイト、学生便覧、シラバス（資料 1 - 2 - ① - 5）及び各学年開始時期のオリエンテーション等により周知している。

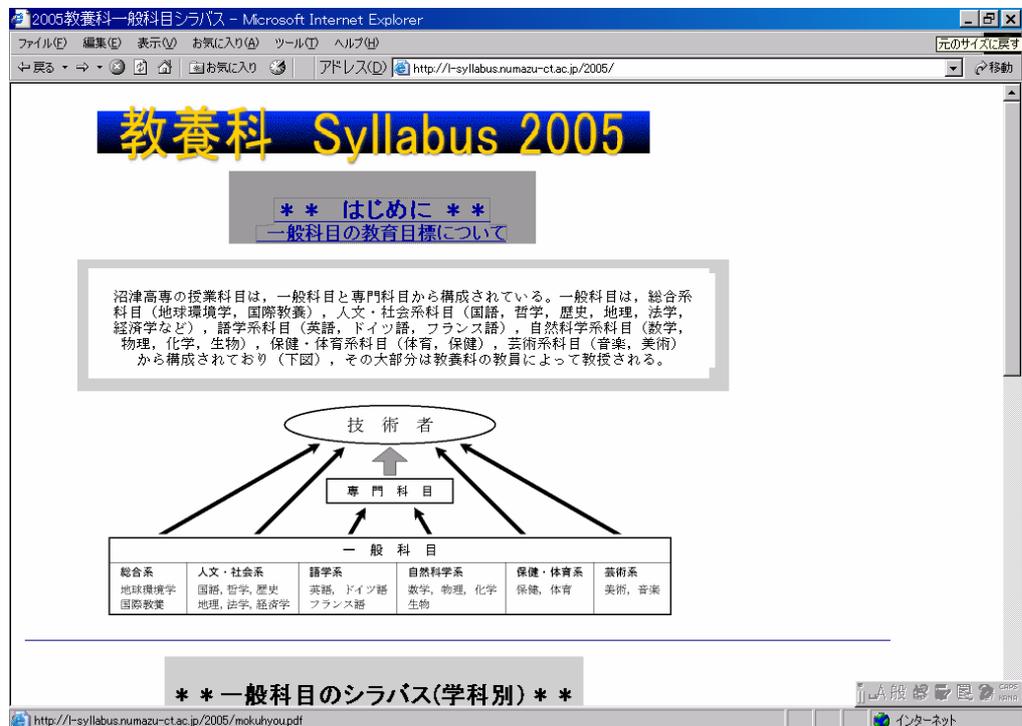
資料 1-2-①-4 : ウェブサイト中の学科紹介ページ



(出典：本校公式ウェブサイト)

[http://www.numazu-ct.ac.jp/NctJpg/gakka\\_frm.htm](http://www.numazu-ct.ac.jp/NctJpg/gakka_frm.htm)

資料 1-2-①-5 : シラバスの各学科等目標記載ページ (教養科の例)



(出典：本校シラバス)

<http://l-syllabus.numazu-ct.ac.jp/2005/>

(分析結果とその根拠理由) 優れている。本校の教育理念、教育目的等について、特に年度当初に集中してさまざまな手段を講じて周知を図っており、教職員及び学生に浸透している。

**観点 1-2-②：目的が、社会に広く公表されているか。**

(観点に係る状況) ウェブサイトにおいて教育理念、教育目的等を掲載・公表し、また、教育方針を掲載している学校概要を毎年発行している(前出資料 1-2-①-1 及び 2)。

さらに、本校への進学に興味を持つ中学生及びその保護者並びに中学校教員を対象とした進学説明会を静岡県内 4 会場、神奈川県 1 会場及び山梨県 1 会場において開催し、本校の教育理念、教育目的等を説明している。併せて、本校の教員が県内の中学校を直接訪問し、学校の PR を行うとともに本校の教育方針等を説明している。就職関連企業には、ウェブサイト及び学校概要を通じて教育内容及び教育方針を説明している。

(分析結果とその根拠理由) 優れている。ウェブサイトによって社会全体に公表している。また、特に将来本校の構成員となる可能性を持つ中学生関係には重点的に PR している。

**(2) 優れた点及び改善を要する点**

(優れた点) ウェブサイトを積極的に活用するとともに、紙媒体や口頭での対面プレゼンテーションを組み合わせることで多様な手段で教育目的等の周知を図っている点は、情報取得手段が多様化している現代において幅広い対象に周知できる体制となっている点から、優れている。

(改善を要する点) 特になし。

**(3) 基準 1 の自己評価の概要**

本校は、学則第 1 条においてその目的を明文化している。また、平成 16 年 4 月の独立行政法人化に伴い定められた沼津工業高等専門学校中期計画(以下「中期計画」という。)においても、学校全体の教育理念及び養成すべき人材像と、教養科・各専門学科・専攻科の教育目標を明確に定めている。さらに、平成 16 年度に教育理念等を見直し、教育理念、教育目的及び教育目標をより一層の明確化を図った。本校の使命、教育理念、教育目的、教育目標及び学科等毎の教育目標はすべて明確に定めてあり、優れている。

本校の教育理念、教育目的、教育目標及び学科等毎の教育目標は、「実践的技術者の養成」を至上命題に掲げるなど、学校教育法第 70 条の 2 に規定された高等専門学校一般に求められる目的からはずれるものではなく、相応である。

本校の教育理念及び教育目的は、職員にはウェブサイト、学校概要及び新入教職員オリエンテーション等により周知し、学生にはウェブサイト、学生便覧及び新入生オリエンテーション等により周知している。また、各学科等毎の教育目標は、教職員にはウェブサイト中の学科紹介ページや教員会議等により周知し、学生にはウェブサイト、学生便覧、シラバス及び各学年開始時期のオリエンテーション等により周知している。このように、本校の教育理念、教育目的等について、特に年度当初に集中してさまざまな手段を講じて周知を図っており、教職員及び学生に浸透していると考えられ、優れている。

社会一般に対しても、ウェブサイトにおいて教育理念、教育目的等を掲載・公表し、また、教育方針を掲載している学校概要を毎年発行している。さらに、本校への進学に興味を持つ中学生及びその保護者並びに中学校教員を対象とした進学説明会を県内外において開催し、本校の教育理念、教育目的等を説明している。併せて、本校の教員が県内の中学校を直接訪問し、学校の PR を行うとともに本校の教育方針等を説明している。就職関連企業には、ウェブサイト及び学校概要を通じて教育内容及び教育方針を説明している。ウェブサイトを積極的に活用するとともに、紙媒体や口

頭での対面プレゼンテーションを組み合わせる多様な手段で教育目的等の周知を図っている点は、情報取得手段が多様化している現代において幅広い対象に周知できる体制となっている点から、優れている。